

令和の日本型学校教育の構築 「探究する子どもを育てるために必要なこと —『学力』のその先へII—」

第16回

あきたの 教師力 高度化 フォーラム

本フォーラムは1日目と2日目に、「あきた」の授業力を継承、発展させようとする本教職大学院院生が、実践研究に取り組んだ成果を発表します。今年度も、学校マネジメントや主体的・対話的で深い学びなどの現代的な課題に基づく意欲的な発表を行います。

2日目には清國祐二氏による講演「子どものニーズを見極める教師の役割—サーバント・リーダーシップを手がかりに—」、並びに「あきた」の授業力を俯瞰するシンポジストによるシンポジウム「探究する子どもを育てるために必要なこと—『学力』のその先へII—」を開催します。

1日目と2日目午前の発表は会場参加、2日目午後の講演とシンポジウムは会場参加とZoom参加のハイブリッド型による公開となります。

皆様の参加をお願いします。

講演講師

大分大学大学院教育学研究科教授
元つくば中央研修センター長

清國 祐二



期 日

令和
7年

2月14日(金)・15日(土)

会 場

秋田大学60周年記念ホール

教育文化学部3号館145教室 他

対 象

全国の教職員・研究者・教育委員会指導主事・
研修員・教員志望学生・院生等

日 程

1日目 2月14日(金)

9:30 開場・受付(秋田大学60周年記念ホール前)

10:00 開会行事

10:20 秋田県総合教育センターとの連携による発表
・教職発展演習受講者(学部生)の発表
・秋田県総合教育センター研修員の発表

11:30 昼食・休憩

12:30 研究中間発表(学部卒院生・現職教員院生)

13:30 研究成果発表Ⅰ(学部卒院生)

2日目 2月15日(土)

9:30 開場・受付

10:00 研究成果発表Ⅱ(現職教員院生)

11:40 昼食・休憩

12:45 講演

「子どものニーズを見極める教師の役割
—サーバント・リーダーシップを手がかりに—」

講 師

大分大学大学院教育学研究科教授
元つくば中央研修センター長

清國 祐二

14:10 シンポジウム

令和の日本型学校教育の構築

「探究する子どもを育てるために必要なこと
—『学力』のその先へII—」

シン
ポ
ジ
ス
ト

秋田県教育庁義務教育課学力向上・教育情報化推進チーム
チームリーダー

長門 亮

秋田県鹿角市立十和田小学校
校長

石井 むつみ

秋田大学大学院教育学研究科
教授

成田 雅樹

コメンテーター

講演講師

清國 祐二

コーディネーター

秋田大学大学院教育学研究科
准教授

細川 和仁

15:45 閉会

※新型コロナウイルス感染症などの状況により、計画を変更する可能性があります。

変更がある場合には、本学教育文化学部HP(<https://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/>)に記載します。

【申込方法】裏面をご覧ください

【主催】秋田大学教職大学院

【共催】秋田大学教育文化学部附属教職高度化センター／
秋田大学教職課程・キャリア支援センター

【後援】秋田県教育委員会／秋田市教育委員会



お問合せ先

秋田大学教育文化学部総務担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

018-889-2509

kyosou@jimu.akita-u.ac.jp

参加申込方法

本フォーラムは1日目[午前・午後]と2日目[午前]は会場参加方式、
2日目[午後]のく講演・シンポジウム>は会場参加方式とZoom参加方式のハイブリッド型となります。
下のQRコードまたは申込フォームURLより、必要事項(氏名、E-mailアドレス等)を入力してお申し込みください。



◀お申込みはこちらから

申込
締切

令和7年2月5日(水)17:00

Zoomでご参加の方▶2月12日(水)までにZoomのID、パスコードをメールでお知らせします。

※電話、FAXによる申込みは受け付けておりません。

※お申込みの際にご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、本フォーラムの事務手続き以外には利用しません。

申込フォーム URL <https://forms.office.com/r/mp3EcRCnXG>

お問合せ先

秋田大学教育文化学部
総務担当

018-889-2509



kyosou@jimu.akita-u.ac.jp

タイムテーブル

1日目 2月14日(金)

	60周年記念ホール (3号館145教室)	教育文化学部 3号館146教室	教育文化学部 3号館150教室	教育文化学部 3号館254教室	教育文化学部 3号館255教室	教育文化学部 3号館343教室	教育文化学部 3号館344教室
9:30	9:30~ 受付						
10:00	10:00~ 開会行事						
11:00	10:20~11:30 県総合教育センター との連携による発表						
12:00		11:30~12:30 昼食・休憩					
13:00	12:30~13:15 研究中間発表		12:30~13:15 研究中間発表				
14:00	13:15~13:30 移動・休憩						
15:00				13:30~15:40 研究成果発表Ⅰ(学部卒院生)			

2日目 2月15日(土)

	60周年記念ホール (3号館145教室)	教育文化学部 3号館146教室	教育文化学部 3号館150教室	教育文化学部 3号館254教室	教育文化学部 3号館255教室
9:30	9:30~ 受付				
10:00					
11:00		10:00~11:40 研究成果発表Ⅱ(現職教員院生)			
12:00		11:40~12:45 昼食・休憩			
13:00	12:45~13:50 講演				
14:00					
15:00	14:10~15:45 シンポジウム				
	閉 会				

NITS・教職大学院・教育委員会等
コラボ研修プログラム支援事業

独立行政法人教職員支援機構

教職員支援機構とは

独立行政法人教職員支援機構は、教職員に対する総合的支援を行う全国拠点として、国の教育政策上必要とする研修の効果的な実施や調査研究等を通じ、教職員の資質・能力の向上に寄与する組織です。

英語表記である「National Institute for School Teachers and Staff Development」から「N.I.T.S.」の頭文字を取って、「NITS(ニッツ)」を略称としています。

NITS・教職大学院・教育委員会等
コラボ研修プログラム支援事業とは

教職員支援機構(NITS)が、「研修観の転換」に資するため、各教職大学院・教育委員会等が実施する研修、セミナー、ワークショップ等の開催にあたり所定の補助を行う事業です。

<https://www.nits.go.jp/service/collabo/>